

キャップジェミニ連絡先:

北上由香 (日本)
yuka.kitagami@capgemini.com
+81 3 6202 2150

Mary-Ellen Harn (North America)
mary-ellen.harn@capgemini.com
+1 704 490 4146

Cortney Lusignan (EMEA)
Weber Shandwick for Capgemini
clusignan@webershandwick.com
+44 (0) 20 7067 0764

RBC Wealth Management 連絡先:

Suzanne Willers
suzanne.willers@rbc.com
+1 416-974-2727

Carol Lau (Asia-Pacific)
Weber Shandwick for RBC
clau@webershandwick.com
+ 852 2533 9981

アジア・パシフィック地域は世界トップの富裕層市場として、その地位を確立

アジア・パシフィック・ウェルス・レポート 2015 によると、インドと中国の牽引により、
年率 10% で成長が見込まれるアジア・パシフィック地域の富裕層の個人資産

香港、シンガポール 2015 年 9 月 15 日 - キャップジェミニおよび RBC ウェルス・マネジメントが本日発行した [アジア・パシフィック・ウェルス・レポート 2015](#) (APWR) によると、主な新興市場の中で中国とインドは、2014 年のアジア・パシフィック地域の富裕層 (HNWI)¹ の人口とその資産の継続的な成長を牽引した。2014 年にアジア・パシフィックにおける富裕層の人口は、8.5% 増の 470 万人 (わずか 2 年前と比べ 100 万人増加した)。さらに、資産は 11.4% 増の 15 兆 8,000 億米ドルに達し、世界のあらゆる地域をリードした。

RBC ウェルス・マネジメントのアジアのヘッドである Barend Janssens は、「アジア・パシフィック地域は非常に大きな資産を創出し続け、当面、減速しないであろう。」と話す。「最近の経済問題をよそに、その地域の富は世界の成長を牽引した。アジア・パシフィック地域の富裕層のますます複雑になるニーズを満たすことができる資産運用会社にとっても大きなチャンスをもたらすだろう。」

最新の [ワールド・ウェルス・レポート 2015](#) によると、アジア・パシフィック地域の富裕層の人口は既に北米を抜いており (北米の 468 万人に対し、アジア・パシフィックは 469 万人)、2015 年末には北米がリードする富裕層の資産 16 兆 2,000 億米ドルを追い越す見込みだ。さらに今後、アジア・パシフィック地域における富裕層の資産は世界のどの地域よりも拡大すると予測され、その新たな資産の大半は、中国、インド、インドネシア、タイの新興国によってもたらされる見込みだ。特に中国とインドは、近年のアジア・パシフィック地域の富裕層の成長を加速させ、同地域だけでなく世界の牽引役としての役割を継続して果たすことが見込まれる。中国とインドは世界の富裕層資産のおよそ 10% を占めており、2006 年以降に世界で創出された資産のおよそ 17% を占め、その間に 3 兆 2000 億米ドルが加わったことになる。

2014 年だけで、中国の富裕層の人口は 17.5% 増の 89 万人に拡大し、その資産は 19.3% 増の 4 兆 5,000 億米ドルに達した。一方インドの富裕層人口は 26.3% 増の 19 万 8000 人、資産は 28.2% 増の 7,850 億米ドルと、アジア・パシフィック地域においても、世界においても最高の伸び率を記録した。

日本、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、香港、台湾、マレーシア、韓国のアジアの成熟国における富裕層の資産は、2014 年に 7.0% 増加した。2017 年までに 8.9% の割合で成長し、その資産は 12 兆米ドルに達すると予測される。

¹富裕層 (HNWI) とは、主たる住居、回収可能債権、消耗品、および耐久消費財を除き、100 万米ドル以上の投資資産を持つ個人と定義される。

シンガポールの富裕層の人口とその資産の増加率は低く、それぞれ 2.2%、3.9%となり、それに対して香港の富裕層の人口とその資産は堅調に、それぞれ 11.2%、13.1%増加した。

レポートはまた、2014 年のアジア・パシフィック地域のウルトラ富裕層（投資可能資産が 3,000 万米ドル以上）は、この地域の百万長者の 1%未満であったが、資産の 4 分の 1 以上はこの層から生み出されたとしている。

富裕層のポートフォリオにおいては、現金と信用取引が大きな役割を果たす

本レポートの世界の富裕層の実態調査 2015²（The Global HNW Insights Survey）によると、現在、現金（23.1%）がアジア・パシフィック地域（日本を除く）³における富裕層のポートフォリオの最も大きい構成要素であり、僅差で続くのが株式（22.8%）、不動産（21.4%）となっており、これらが昨年上位を占める資産であった。このことは、株式（27.9%）が現金（23.3%）を超え、不動産（18.2%）が続く他の地域⁴と一線を画している。一方、日本の富裕層は、7%近くが現金を離れ（2014 年の 43.8%から 2015 年の 37.1%）、より多くを株式（2014 年の 20.7%から 2015 年の 26.3%）に投資した。

世界の富裕層が現金を手元に置く理由として、彼らのライフスタイルのニーズにあわせるため、そして市場が乱高下した場合に備えた経済的安定性のためとしているのに対し、アジア・パシフィック地域（日本を除く）の富裕層は、突然起こるかもしれない金融投資の機会と不動産投資に現金を使う傾向がある。

レポートはまた、アジア・パシフィック地域（日本を除く）において、富裕層の 4 分の 1 以上（25.5%）の資産が資金調達に信用枠を使用しており、この地域の富裕層にとって信用枠が重要であることを見出した。それに対し、世界の他の地域では、その比率はわずか 18.2%だった。結果として、アジア・パシフィック地域の富裕層は資産管理を委託するにあたり、資産運用会社の与信提供能力を他の地域（34.9%）に比べ、最も重視（58.7%）している。

「世界の他の地域の富裕層と比べると、アジア・パシフィック（日本を除く）の富裕層は、現金と与信をより重視し、その理由も様々である。」キャップジェミニの金融サービス・グローバル・ビジネスユニットのグローバル・セールス・オフィサーである Andrew Lees が言う。「資産管理マネージャと資産運用会社は、包括的な資産管理や目標に基づいて策定した計画の一環として、それらの領域でカスタマイズした機会を提供することにより、同地域の富裕層を相手にすることができる。」

海外配分比率は 2014 年の 43.4%から 2015 年の 37.8%と減少しているものの、アジア・パシフィック地域（日本を除く）の富裕層の国内市場外への投資は、依然として世界の他の地域の配分比率（36.2%）を上回っている。

アジア・パシフィック地域の富裕層は、社会的インパクトへの対応についてより多くのサポートを期待

2014 年のアジア・パシフィック・ウェルス・レポートは、アジア・パシフィック地域（日本を除く）の富裕層の 97%が、何かしらのレベルで、社会的インパクトを推進する重要性を考えているとした。本年のレポートでは、アジア・パシフィック地域（日本を除く）の富裕層は社会的インパクトの目標を達成する方法についてアドバイスを求めているとしており、その需要は 2015 年には 24.3%に達した。

アジア・パシフィック地域（日本を除く）の富裕層の中で、資産管理マネージャーが社会的インパクトに対する最も重要な情報源として浮上しており、同地域の富裕層の半数（50.0%）が、資産管理マネージャーに助言を求めるとしている。他の地域でのそれは、23.9%である。3 分の 2 以上（66.5%）が、今後、より多く社会的インパクトに対する助言を資産管理マネージャーから求めたいとしている。

²キャップジェミニと RBC ウェルスマネジメントによる世界の富裕層の実態調査 2015（Global HNW Insights Survey 2015）は、北米、中南米、欧州、アジア・パシフィック地域、中東およびアフリカにおける、23 の主なウェルス市場の 5,100 名以上の富裕層への調査を行い、そのうち、アジア・パシフィック地域では、オーストラリア、中国、香港、インド、インドネシア、日本、マレーシア、シンガポールの 8 つの主な市場の 1,600 名以上の富裕層を対象とした。

³日本の富裕層には独自の投資行動や嗜好があり、日本はアジア・パシフィック地域の富裕層人口の 50%以上を占めるため、地域の分析を行う際にたびたび日本を分離して、アジア・パシフィック地域から日本を除いた参照を行った。日本についての詳細な調査結果は、アジア・パシフィック・ウェルス・レポートで広く取り上げられている。

⁴他の地域とは、世界の市場または Global HNW Insights Survey 2015（世界の富裕層の実態調査 2015）で網羅されるすべての国から、アジア・パシフィック地域の市場を除いたもの。

キャップジェミニについて

40 カ国以上で 18 万人の社員を擁するキャップジェミニは、世界屈指のコンサルティング、テクノロジーとアウトソーシング・サービスを提供する会社です。2014 年のグループ全体の売り上げは 105.73 億ユーロです。キャップジェミニはお客様と共に、お客様のニーズに合ったビジネス、テクノロジー、デジタルのソリューションを提供し、お客様のイノベーションと競争力の達成を実現しています。完全にマルチカルチャーな組織をもって、キャップジェミニは独自の働き方、[the Collaborative Business Experience™](#)を開発し、[Rightshore®](#)により全世界にサービスを提供しています。

キャップジェミニの金融サービス・グローバル・ビジネスユニットは金融サービス業界に、豊富な業界経験、革新的なサービス、次世代のグローバル・デリバリーを提供します。世界中に 24,000 人の専門家のネットワークと 900 社以上のクライアントを持ち、大手銀行、保険会社、キャピタル・マーケットの企業と協力して、ビジネスと IT ソリューション、具体的な価値を創造する見識を提供しています。

詳細は www.capgemini.com および www.capgemini.com/financialservices をご覧ください。

キャップジェミニ・金融サービス部門のウェルス・マネジメント・エキスパートの連絡先はこちら <http://www.capgemini.com/experts/financial-services> です。

アジア・パシフィック・ウェルス・レポート 2015 その他キャップジェミニからのレポートは、iPad のキャップジェミニ金融サービス・インサイトアプリで閲覧できます。iTunes([こちら](#))からダウンロードしてください。

Rightshore® はキャップジェミニの登録商標です。

RBC Wealth Management について

[RBC Wealth Management](#) は、世界の資産管理会社のトップ5*のひとつです。RBC Wealth Management は、カナダ、米国、イギリス諸島、アジアの主な運用拠点から、グローバルの富裕層、ウルトラ富裕層のクライアントに直接、銀行、投資、信託、その他の資産管理ソリューションを提供しています。また、RBC グローバル・アセット・マネジメント事業（BlueBay Asset Management を含む）を通して、直接、または RBC およびサードパーティの販売チャネルを通して、企業および個人顧客に資産運用商品やサービスを提供しています。RBC ウェルス・マネジメントは、7,780 億カナダドル以上の管理資産と、5,030 億カナダドル以上の運用資産を持ち、およそ 4,050 人の金融コンサルタント、アドバイザー、プライベート・バンカー、信託管理者を擁しています。詳細は www.rbcwealthmanagement.com をご覧ください。

*Scorpio Partnership Global Private Banking KPI Benchmark 2015. In the United States, securities are offered through RBC Wealth Management, a division of RBC Capital Markets, LLC, a wholly owned subsidiary of Royal Bank of Canada. Member NYSE/FINRA/SIPC.

RBC について

Royal Bank of Canada は、カナダ最大の銀行で、時価総額に基づく世界最大の銀行のひとつです。北米有数の多角的な金融サービス会社のひとつであり、個人およびコマーシャルバンキング、資産管理サービス、保険、投資サービスおよび資本市場の商品とサービスをグローバルに提供しています。カナダ、米国およびその他 38 の国に拠点をもち、1,600 万以上の個人、企業、公共部門および機関顧客にサービスを提供する、およそ 79,000 人の社員、契約社員がいます。詳細は rbc.com をご覧ください。

RBC は寄付、スポンサー、従業員のボランティア活動を通じて地域社会の取り組みを幅広くサポートしています。2014 年には寄付で 76 百万ドル以上、スポンサーとして 35 百万ドルのコミュニティへの投資を含め、世界中で 111 百万ドル以上の拠出を行いました。